

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和3年6月4日（金）

2 出席者 20名

（1）特別委員会委員 8名

（2）説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部次長、資源循環推進課長、新最終処分場整備室長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼施設課長

ウ 日立市 4名 生活環境部長 ほか

（3）議会事務局 4名

3 会議概要

茨城県から説明を受け、質疑を行った。なお、説明の内容及び委員と県の主なやり取りは、次のとおりです。

（1）新設ルート周辺住民への追加説明結果について

中丸団地周辺の住民を対象としたフォローアップ説明会において、「搬入ルートの検討結果を示してほしい」との意見があったことから、中丸団地の自治会役員を対象に追加説明（計2回実施、延28名参加）を行い、一定の理解を得た旨の説明があった。

（2）「新産業廃棄物最終処分場整備に向けた課題への対応策に関するご意見と県の考え」について

これまでに県が実施した住民説明会及びフォローアップ説明会において出された意見・要望等に対する県の考え方が示され、県ホームページで公開する旨の説明があった。

■ 委員と県の主なやり取り

ア 委員：これまでの住民説明会では、交通安全や搬入ルートの問題など、住民から複数の意見・要望が出されていたが、今回の中丸団地自治会役員への追加説明で一定の理解を得られたと考えてよいか。

回答（県）：中丸団地の住民から出された「団地の西側を通すルート」の検討結果の説明においては、前向きな御意見を沢山いただき、また、処分場の整備に関する反対意見もなかったことから、一定の理解が得られたと考えている。

イ 委員：新設ルートについて、立体交差部のイメージ図がないと理解できない方々もいると思うが、現段階でイメージ図を示すことはできないのか。

回答（県）：詳細設計に入る前に大まかなルートを決め予備設計を行うことから、その時点で立体交差のイメージを示し、説明の場を設けたいと考えている。

ウ 委 員 : 基本計画策定委員会は設置されたのか。また、委員会の構成人数や日立市の要望が反映される機会があるのか伺いたい。

回答(県) : まだ設置はしておらず、現在、委員の選考を進めている。基本計画策定委員会は基本的に公開で行うことを考えており、住民の皆様に対して報告会を実施し、意見を聞く機会を設けたいと考えている。

エ 委 員 : 施設や新設道路の建設などにおいて、万一事故等が起きた場合は、住民にできる限り寄り添う形で対応すべきと考えるがいかがか。

回答(県) : 事故を起こさないために何重もの方策を考えているが、万一事故等が発生した場合には、県の責任において迅速に対応するとともに、地元の方々との平時からの意思疎通もしっかりと行っていきたい。

オ 委 員 : 油縄子交差点の改良については、処分場の工程を考慮しながら計画的に整備するとのことだが、工事車両の対策として、この箇所は優先的に工事を進めるべきである。どのように進めようとしているのか。

回答(県) : 既存道路の改良が終わってから処分場整備に入ることは現実的に難しいと考えており、地元の交通安全・交通渋滞に極力影響を及ぼさないような進め方で工事を行いたいと考えている。

(3) 請願等について

継続審査中の3件の請願等については、今後、県が想定する最終処分場整備に向けた課題への対応策を精査し、次回の委員会で改めて審査することとした。

以 上